

浜岡原子力発電所4号機で使用するMOX燃料の製造開始について

平成 20 年 5 月 7 日

当社は、浜岡原子力発電所4号機のプルサーマルで使用するウラン・プルトニウム混合酸化物燃料（MOX燃料）を、フランスのメロックス工場で製造することとし、平成20年3月4日には、経済産業省に対し、電気事業法第51条第3項に基づく輸入燃料体検査の申請を行いました。

(平成19年5月18日、平成20年3月4日お知らせ済み)

5月上旬にもMOX燃料の製造を開始することとなり、MOX燃料の製造状況やメロックス工場の品質保証活動を直接確認するため、当社社員（管理・監督者1名、担当者2名）をメロックス工場に派遣、駐在させました。担当者2名はMOX燃料の製造が終了するまでメロックス工場に常駐します。管理・監督者1名は当初、2ヶ月間程度駐在する予定で、その後も必要により派遣します。

また、今後、ペレット製造、燃料棒製造、燃料集合体製造等の工程毎にメロックス工場で行う品質保証活動の監査においては、別途、当社の品質保証監査チームを派遣します。

(平成20年4月30日お知らせ済み)

このたび、フランス現地時間で5月5日（日本時間で5月6日）より、メロックス工場にてMOX燃料の製造を開始しましたのでお知らせします。

参考 [MOX燃料使用開始までの工程\(予定\)](#)

以 上